

甲26

# 同和地区精密調査報告書

(昭和37年及び昭和38年)

同和对策審議会



目 次

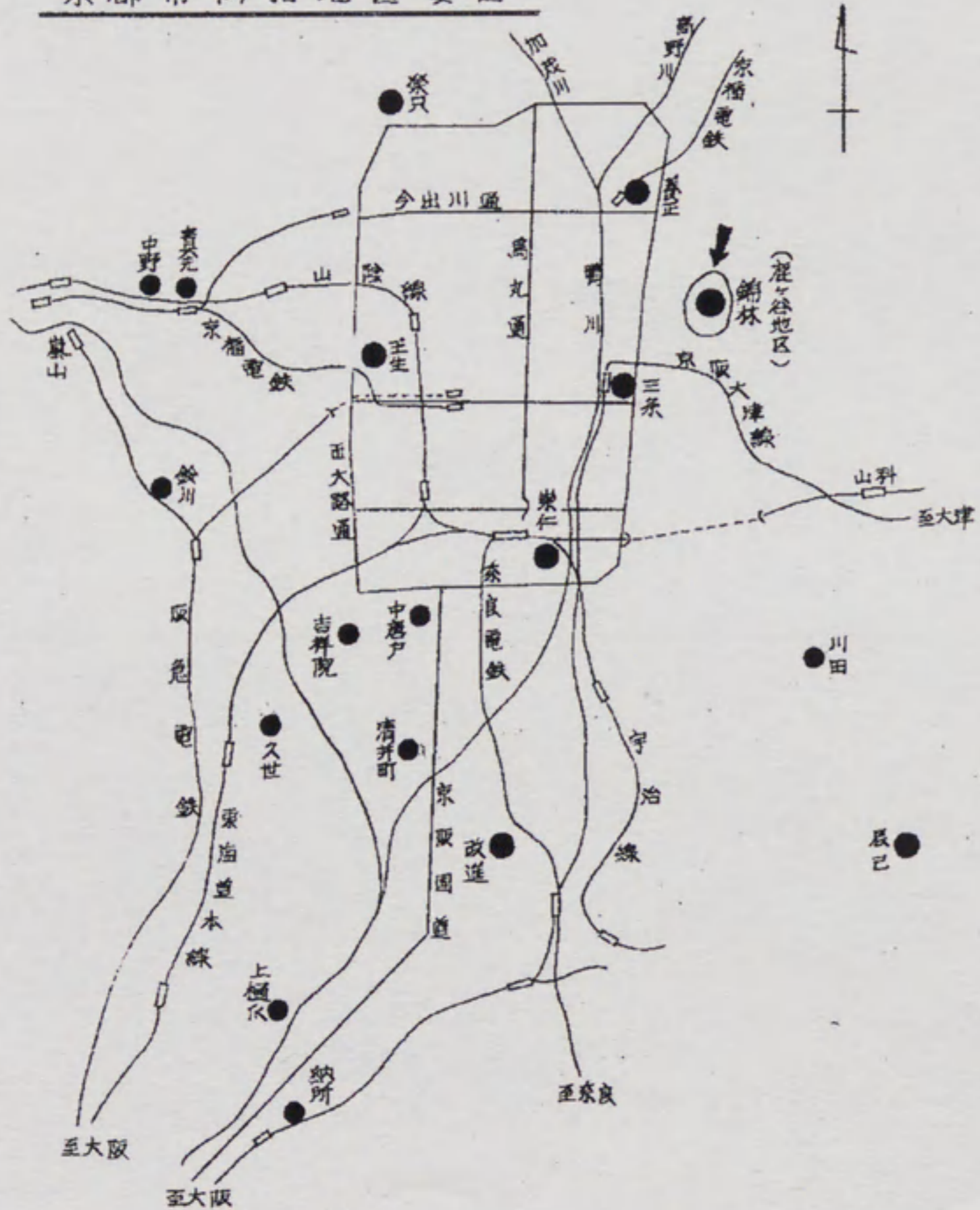
1. 埼玉県北埼玉郡騎西・田ヶ谷
2. 京都市左京区鹿ヶ谷
3. 広島県佐伯郡大柿町
4. 高知県高知市宮前 (以上 昭和37年)
5. 長野県小諸市加増
6. 静岡県浜松市吉野町
7. 大阪市出城通
8. 兵庫県姫路市高木
9. 奈良県桜井市初瀬馳向
10. 和歌山県和歌山市打田町東国分
11. 岡山県夏庭郡久世町
12. 山口県防府市右田
13. 徳島県徳島市一宮
14. 愛媛県北条市中西外上
15. 福岡市西照 (以上 昭和38年)

田ヶ谷・中原地区

精密調査報告書

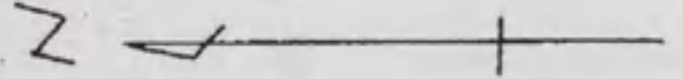
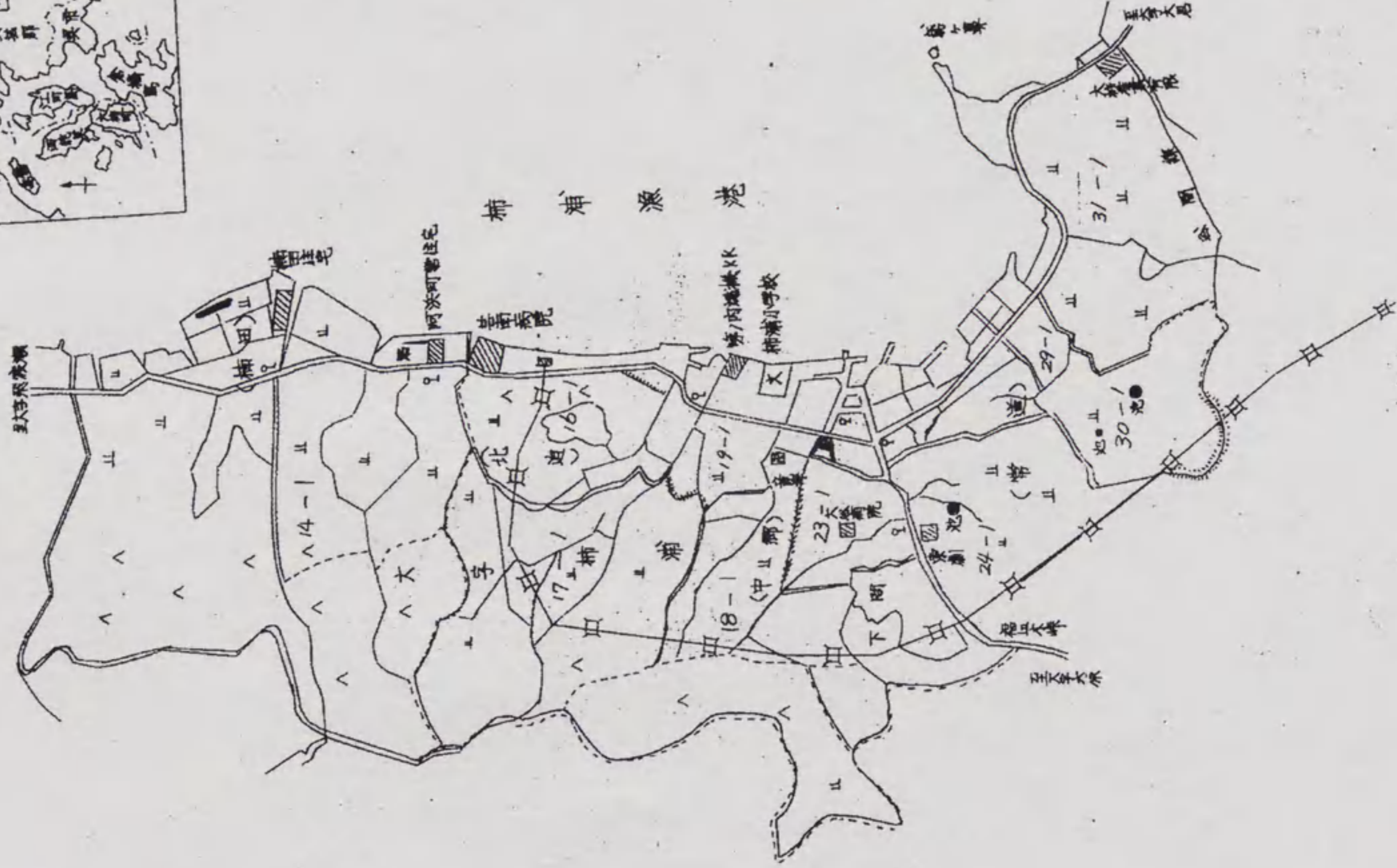


京都市同和地区要図





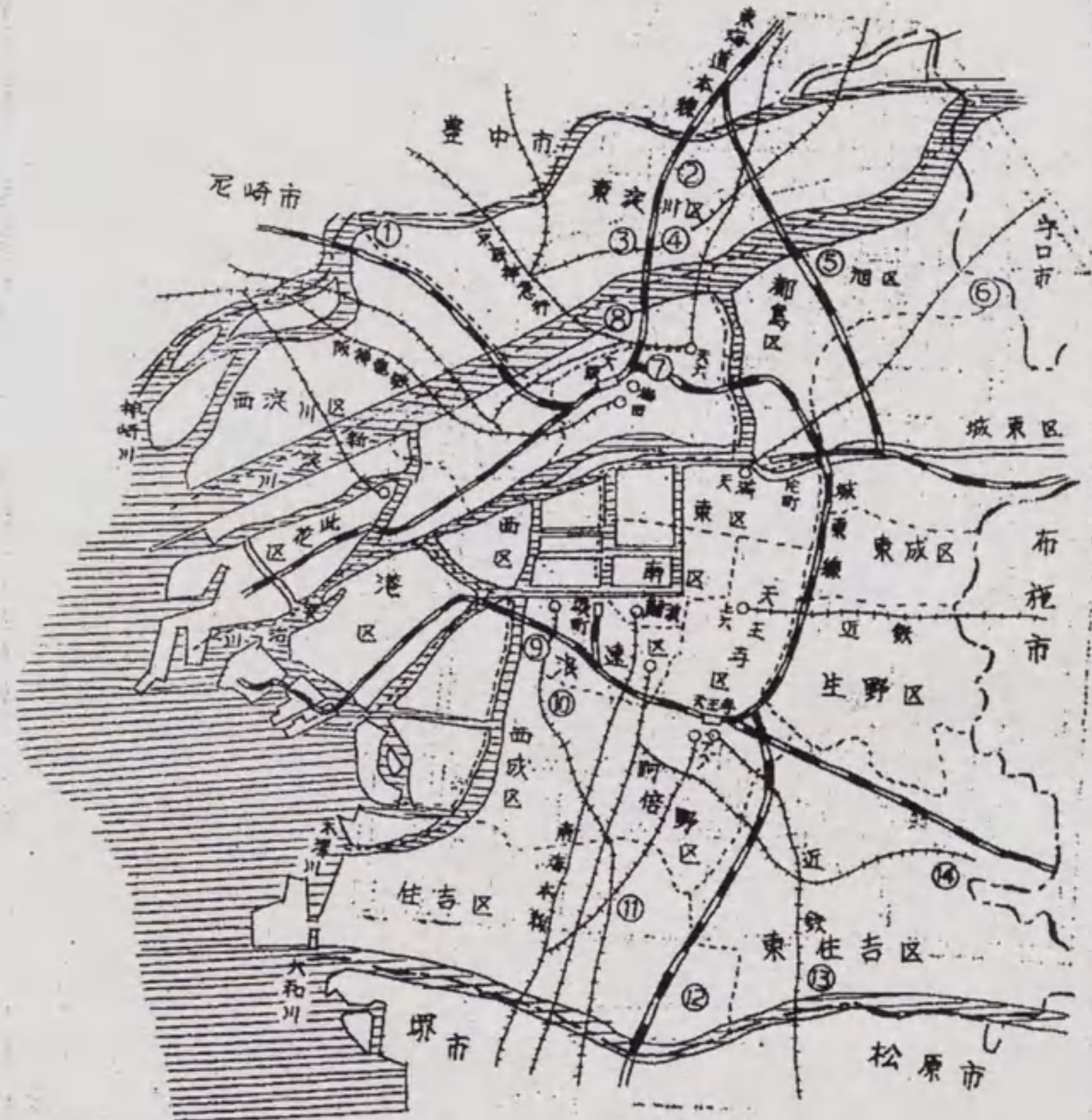
大柿町・柿浦地区略图





大阪市内同和地区の所在地

- ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭  
 加 日 蕨 飛 生 西 丹 中 浪 面 住 浅 矢 平  
 島 出 方 鳥 江 国 場 津 速 成 吉 香 田 野





たがって、狭い住宅で家族労働の光景もしばしばみられる。ほかに、この地区の産業としては、各種部品の加工業も存在するが、これも家内労働ないし町工場方式の生産形態が多い。

### 3. 人口状態

#### 1) 世帯数と人口

大阪市内の同和地区の数と位置は、附図にみられるとおりであるが、その世帯数や人口は、同和地区の範囲そのものが厳密には把握しがたいので、正確な数字はわからない。そこで、便宜上、関係のある行政区域(町丁)を単位として、推定の数字が出されているが、それによると、大阪市内の同和地区の世帯数と人口とは、表1のごとくで、一ほう世帯数が13,722、

人口が58,608となっている。この数字は、実際の人口よりはかなり多いように思われるが、それはともかくとして、西成地区の場合は、世帯数が6,742、人口が30,826人で、二位の西成地区の2倍以上の規模を有し、大阪市最大の同和地区を形成している。おそらく、この数字のなかには、一般民の混住もかなり多いであろうがそれにしては大阪市最大の部落人口を有することには変わりない。

表1 地区の名称、範囲、世帯数、人口

同和地区の世帯数、人口等については同和地区の範囲そのものが厳密に把握し難いと同様に正確な数字はわかりにくいがおおよその見当をつける意味で推定の数字をあげる。

地区名	地区の範囲	世帯数	人口
加島	東淀川区加島東之町	388	1,684
日之出	東淀川区西茨路町ノ丁目・山口町の一部	510	1,850
飛鳥	東淀川区飛鳥町	500	2,100
南方	東淀川区南方町	196	765
舟場	北区舟場町の一部・道本町の一部・栗村町の一部	85	405
中津	大淀区中津本通の一部・中津次通2~3丁目の一部	131	590
生江	旭区生江町4丁目の一部	980	4,800
両国	旭区両国町の一部	367	1,468
浪速	浪速区柴町1~6丁目・西成北通1~3丁目・西成中通1~3丁目・西成南通1~3丁目	3,000	10,640
西成	西成区北岡1~4丁目・中岡1~6丁目・南岡1~8丁目・出城通1~9丁目・長橋通1~9丁目・鶴見橋北通1~8丁目・鶴見橋通1~8丁目	6,742	30,826
住吉	住吉区住吉町の一部	360	1,600
平野	住吉区平野次町	180	884
浅香	住吉区浅香町	520	2,580
矢田	東住吉区矢田高田町・矢田部町	594	2,470
計		13,722	58,608

注) 同和地区として認められている上記のものうち、中津・平野・浅香は市同和産業促進議会に加入していない。